

山梨県第2期SDGs未来都市計画 概要

～誰もが豊かさを実感できる「豊かさ共創社会やまなし」の実現～

計画期間 R8(2026)年度～R12(2030)年度

山梨県総合計画を軸に、SDGsの3側面（経済・社会・環境）にコミットした取り組みを推進することで、地方創生を達成し、県民一人ひとりが「山梨県」に誇りを持つことができ、住み続けられる・選ばれる県へ進化することを目指す。

経済



全ての人がチャレンジできる 土台整備による「豊かさ共創社会」の実現

◆ 山梨を牽引する産業の育成

- **メディカル・デバイス・コリドー構想の推進**
研究開発支援 高度化・裾野拡大・海外展開
医療機器関連産業人材の確保・育成
- **水素・燃料電池関連産業の基幹産業化の推進**
技術人材の育成 研究開発支援
専門的できめ細かな伴走支援
- **スタートアップの県内集積と
オープンイノベーションの推進**
支援拠点の整備 実証実験サポート事業
「テストベッドの聖地やまなし」プロモーション

SDGsの3側面における 主な取り組み



社会

生活基盤の保障と強靱化による 誰もが安心して暮らせる地域の実現

◆ それぞれのライフステージにおける切れ目のない支援

- **子どもの貧困対策の推進**
貧困家庭への食料品の提供
中高生の居場所づくり 学習機会の提供
- **妊娠・出産・育児の支援策の充実**
不妊治療に対する支援 産後ケア事業の活用促進
保育士加配や多様な保育サービス導入支援
- **少人数教育の推進**
少人数学級の対象学年を順次拡大
アクティブクラスへの教員加配

統合的取組み

スリーアップの好循環の構築

「やまなしキャリアアップ・ユニバーシティ」の運営

経済・社会・環境の各側面に関係する
全ての「人」に対するリスキリングを支援

【スリーアップの好循環】

働き手のスキルアップ→企業収益のアップ→賃金アップ

環境



脱炭素社会の実現による「上質な空間」の創出

◆ 先進的な脱炭素社会転換への取り組み

- **自然首都圏への進化**
富士五湖自然首都圏フォーラムを核とした取り組みの推進
- **グリーン水素の利用拡大**
P2Gシステムの国内外での導入拡大 県産グリーン水素の産業利用拡大
- **4パーミル・イニシアチブの推進**
実証ほ場での更なる技術開発 認証制度運用 全国協議会研修会